

「ここで
2穴中出しって
本当ですか!?!」

基本CG 31枚

おまけイラスト4枚

「キミのこの豊満な肉体のせいで ちっとも授業に集中できないんです!! このムラムラをどうしてくれますか?」

と...童貞
コワすぎ...

マジ...カンペン

「そ...そんなの知らないし!!!」

「そうです! 短すぎるスカートで毎日ぱんつをチラチラさせて!!」



やちよっ
意味わかんないん
ですけど!!

人来るから
もうヤメて!

夕方公園でキセメン変態兄弟にいたがられるキャ○子!!



ちよー意味
わかんないん
ですけど!?

「カラオケ行くんでしょ？
なんで遠回りなの??？」

「暗くなつてきちやたじゃん」

「なあ、ギャル子
ホワイトデーにあげた
下着つけてくれてんの？」

「え!?! 急にナニ?」

「なんだ穿いてくれてないのか…」

はいてる!
穿いてるし!!

「じゃあ今すぐ見せて」

「はあっ? ご…ごまごまで!」

「マジ無理なお願いなんですけど!!」



ほら
ちゃん
履いてるよ

ちん

「本当は気に入らなかつたから
穿いてないんだろ」

「まっつて、まっつて！」

「もういいよ、オレ帰るわ」



「上は？ ブラは？」

「つけてるよ！」

「信じらんないなあ…」

はっ!!

あーもう
面倒クサッ

ちやんと
つけてるかん

!!!

「ギャル子エロすぎ♡」

「似合いすぎだから
ご褒美におっぱい
揉みくちやにしてやるわ」

やちよっ
意味わかんないん
ですけど!!

はっはっ

はっはっ

人来るから
もうヤメて!



「ムラムラしてきた生おっぱいを見せて」

「そんでもって吸っていい?」

ぶるんっ

それもう下着とか
関係ないじゃん!

ぶるんっ

パチッ

「フロントホック
プレゼントしといて
よかった♡」



こんなところでヤメ…っ!!

「ば、ばかあっ!!
ちよっつと…!!」

「一日一回はギャル子のおっぱい揉んだり吸ったりしないといけないんだよね(笑)」



じゅる
じゅる

じゅる
じゅる

たん

しゅ

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

「いつ見てもギャル子おっぱいは
神おっぱいだな♡大好き♡♡」

「それじゃあ私の魅力が
おっぱいだけみたいじゃん!
ちよーム力つくんですけど!!」

あと
こーゆーのは
二人つきりで
部屋に戻って
から…!!

「いいじゃん、この公園
あんまり人こないし
へーキ、へーキ」

丸お

おっぱ

おっぱ

おっぱ

おっぱ



「嫌がつてるワリに乳首ビンビンじゃん」

んんんん!!

ああんっ
ふああん
も：もう
やめてよ!

「ギャル子おっぱい
すっげー弱いよね(笑)」

モシッ

カヤ
ンク
ンク

モシッ

モシッ

カヤ
ンク
ンク

モシッ

カヤ
ンク
ンク

は

は

ニムシ

は

は

は

は

は

は

あゝ

「ここでチンポ入れちゃっていい？」

「もうガマンできないし」



ダメに決まってるでしょ!!
マジ変態!! 信じらんない!

あゝ

「よかった♡紐パンで」

アロ♡

「ちよ、…ひとの話
聞いているのおっ!？」

わぁー♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡



ん

この状況で褒められても
素直に喜べないんですけどオ

ひく

んんん

んんん

じゅる

んんん

じゅる

んんん

じゅる

「ギャル子っておっぱいはっか
目立つけど、お尻もキレイで
形いいんだよね♡大好き」

んんん

んんん

んんん

「ギャル子のまんこ
温かくて気持ち
いい♡♡♡♡♡」

おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

おっ

おっ

やムリムリ!!
抜いて、抜いて!

おっ



「こつちもムリムリ
こんなに気持ちいいのに
動かさないのムリ(笑)」



「わかった、わかった！
じゃあそつと…そつとね」

激しくはダメだった
マジむり…ふあっ♡

あ
あ
あ

あ

「…は 激しくしないでって
言ってるじゃん、パカあっ」

音 大きいっ!!
誰かに聞かれ
ちゃうっしょ!!
もうやめ…

…ってさらに
激しくするとか
信じらんない!

「ダイショウウブ、ダイショウウブ!
根拠は全然ないけど(笑)」



「あ……あ 本当ダメ
はあはあはあ♡ふあ」

お お願い……っ！
もうイってよあっ！！

「こんなんじや
まだイかないよお
もつとギヤル子の
エッチなとこ
見せてもらわないと！」

「はあ？ なにソレ！？
意味わかんない！」



「ギャル子俺のチンポに
まんこ擦り付けるように
自分でお尻振ってよ♡」

わかつたっ!!
わかつたよ!!

「や ヤだよ!!」

「えー じゃあもう
俺たち別れようか?」

でも…ちよつとだけだよ
そーゆーのすごく
恥ずかしいんだからね…

「やったね♡ギャル子大好き」

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー



はあ

「ん...ん...」

はあ

「まっとうヒロへの『の』の字書へまっとう」

「はあはあ... っわ...」

はあはあ... はあ
もうらめえっ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

「ギャル子って
そんな格好してんのに
すごく素直だよね(笑)」

ここんなのもうムリ
恥ずかしすぎるよオ

「てるわっ!!」

はあ

「ほら、こうしたら
お尻動かしやすいでしょ」

「もうムリだってー!」

コレ：恥ずかしくて
死にそうなんですけど

はあ、はあ、
ムリムリ
もうムリい
っっっ!!!

「ギャル子の腰使いエロ♡♡
もつと激しくお尻振って♡」

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん



「このままギヤル子がお尻振って
イかせくくれたら
もつと好きになるかも♡」

「し 信じらんない!!」

もういい加減
イつてよおっ!!

お尻疲れたあ!

「じゃあここからは俺が
死ぬほど突いてあげるね♡」

ぽん ぽん ぽん ぽん ぽん ぽん

い…イク、イクイクっ!!

「うあっ ちよ… 急に激しくしないで!!」

「…あ …ああ、 ふあああああっ!!」

せ…め…っ!!

あ…

「…んんっ、俺もイク!」

あ…

あ…

あ…

あ…



「あゝ スッキリした♡♡♡♡♡
ギャル子すべてがエロすぎて
気持ちよすぎ♡」

そーいえば俺、チャラ男と
約束あったの忘れてたわ、

「ちよつ…最低!!」

「一緒にカラオケ
行く約束は!?!」

「やりたくなったら…
あいや、歌いたくなったら
また行こーよ♡」

バカバカつ
これじゃ
やり逃げじゃん!!
ありえないん
ですけどおっ!

帰る!



「たっくもう、
あいつやバすぎ！」

「避妊しないどころか
思い切り中出しするなんて
いくら安全日だからって
ありえないっしょ！」

…ぽんっ、ぽんっ
アイツどこに
放り投げたのよ!?

「…マジ別れよっかな」



!!

ビクッ

パンツなら
ここだよ♡

「酷い彼氏だねえ」

「ボクらならもつと大切にするよお〜」

アハハ♡



や!? なにナニ???

ちよ...え?

ははははは

んんんんん

はははは

クンカカ♡

「ね 本当でしょ、お兄ちゃん」

「ギャル子さんはこの公園の草むらで定期的に不純異性行為してるって」



やめてっっっ!!
勝手に触らないで
ほしいんですけど!!

「すごいキレイなおっぱい♡
大きくて柔らかくて…
なのにならつとも垂れてない」

想像していた通り
まさに「神乳♡」

アంతາたチ誰?
何の用なの!?

「いやはやなんとも 同じクラスの
油川太(あぶらかわ ふとし)と
重男(しげお)ですよ。
忘れてるなんて寂しいなあ…」



「キミのこの豊満な肉体のせいでちつとも授業に集中できないんです!! このムラムラをどうしてくれますか?」

「そ…そんなの知らないし!!」

やダメえっ

いまソコ…敏感になつてるからあつ!!

「ボクらは性欲が高ぶって授業どころじゃないんですよ!!」

「そうです! 短すぎるスカートで毎日ぱんつをチラチラさせて!!」

もに♡

もに♡

もに♡

ほ♡

あ♡

♡にゅ♡

♡にゅ♡

♡にゅ♡

♡にゅ♡

♡にゅ♡

♡にゅ♡

♡にゅ♡

♡にゅ♡

「ボくらだって好きでこんな破廉恥をしている訳ではないんです！」

ムムム

ムム

ムムム

マジ意味
わかんないし！

ちよちよちよっくー！
何するつもりなの!?

「これ以上成績が落ちては困るので今日こそスッキリさせていただきます!!」

ムム

ムム

ムム

ムム

「全然使っていないじゃないですか
とてもキレイなおまんこです♡」

「勝手にやりまくりのピッチと
決めつけていました…!!
正式に謝罪させていただきますば」

マジうざいんですけど
キモい! あっち行け!!

どどど舐めてんの!?
ど変態!! やめてよ!
いやあああああ



「ボクは性欲が抑えきれなくて
神聖なる学校のトイレで
ギャル子さんの裸を想像して
250回以上も自慰行為を
してしまいました!!!」

ごぼっ!!
げほお!!

おっ
う

んんっ

「どうしてくれるのです!!
無駄死にしたボクの精子達と
モヤモヤして集中できなかった
勉強時間を返して下さい!」



「ずっとずっとこのギャル子さんのおまんこで
自慰行為を何百回と繰り返してきましたが、
ついに報われる日がやってきましたあ〜♡」

「ギャル子さんのおまんこだあ〜♡」

夢にまでみた
ギャル子さんの
おまんこだあ〜♡

毎日、毎日
想像してきた
ギャル子さんの
おまんこ〜♡

…ぼう、う

んぼうっっ

おっう

じりじり
おまんこ

おまんこ

じり

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ



「今日こそボクらの大切な精子をギヤル子さんの体内に放出し成仏させていただきます!!」

…ほほっ
はなしてよお
おおおっ
(もっ離して
よおおっ)

おねはい
らはらあ
(お願い
だからあ)

あっ
あっ

「ギヤル子さんのクチビル
柔らかくて温かくてセクシーで
けしからんです!!
ほとんど性器です!」

も…イきそうです♡

カッ
カッ
カッ

カッ
カッ
カッ
カッ
カッ

カッ
カッ

カッ
カッ

アッ

アッ

カッ
カッ

んじふん...!!

んじふん...!!

んじふん

んじふん

「ボクの精子、今日こそ
しっかり成仏させたいから
こぼさないで全部飲んでね♡」

んじふん

んじふん

んじふん

んじふん

んじふん

んじふん

んじふん

んじふん



「お兄ちゃんズルいよ、先に射精するなんて！」

ズル

さあ、ギャル子さんの生おまんこは重男が先だ目一杯おちんちんネジ込んでいいよ！

気持ちいいぞ♡

ズル

ズル

「この時間のこの公園に来ればギャル子さんの生SEXが見れるかもしれないって教えてあげたのはボクなのに」

「すまない重男、ついフライングしてしまっただよ」

…ふえっ？なに勝手なこと言ってるの???

ガチですかの??? だだだダメだよ!! わたし彼氏としかSEXしないし!!

「マジやめて!!」

きゃあああああ
抜いてよ、バカ!!
キモいキモいっ!!

うあっ

あぁ

アンタ達キモメン双子と
SEXするなんて
絶対ありえないからあっ!!

「今日まで死ぬほど
イジメられてきたけれど
生きててよかったあ♡」

「どうだ太? ギャル子さんの
生おまんこのお味は?」

温かくてヌルヌルしてて
ポクのおちんちん
もうトロけそうだよ♡

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ

「ギャル子さん大声出すたびに
おまんこキュンキュンしまつて
もうイきそ♡」

「んああああああ
ギャル子さんこ
気持ちイイ♡♡」

あはははは

あはははは

あはははは

あはははは

あはははは

あはははは

こんなキモメン
おちんちんと
SEXなんて
絶対ありえない!!

「ヒュ〜、さすが我が弟!
ギャル子さんを
こんなによがらすなんて
イカすじゃないか」

「ヒュ〜じゃない
よがってない!
ばかっつっつ!!」

ヤダヤだっ!!
キモい、キモい!

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

「お兄ちゃん、ポボク
ギャル子さんをヒイヒイ
言わせてるよ!!」

「やるじゃないか重男!!
さすがはボクの弟だ!!」

どうだいギャル子、
ここかい?
ここがいいのかい?

ぽぽぽ

ぽぽぽ

ぽぽぽ

ぽぽ

ぽぽぽ

「この色男♡」

ぽぽぽ

なんで急に
呼びつけなの?
マジキモすぎ!!
今すぐ死んで!!

「ヒイヒイ言っ
ないっしょ!!
本気で嫌がっ
のっっっ!!」

「誰が色男よ!
お願いだから
マジ消えて!!」

ぽぽ

ぽぽ

ぽぽ

ぽぽ

ぽぽ

「重男、早く代わってくれないかな
お兄ちゃんもう復活完了
カウパーが止まらないよ!」

ズ

ちよっ 生とか
ありえないん
ですけど!

ゴム無しとか
信じらんない!!

「生おちんちん大好きだろ
素直になれよ♡」

ちやんと
外に出してよ!!

「アンタなんで口調まで変わってんの!?!」

ズ

ズ

ズ

ズ



カ
カ
カ

カ
カ
カ

カ
カ
カ

カ
カ
カ

はあはあ、
…もムリ

お願いだから
早くイってよオ

「君と同じクラスなつてから
毎日毎日一日も欠かさず
この豊満なわがままボディを
めちやくちやにする妄想をしながら
自慰行為をしてきたんだ！」

「そう簡単にはフィニッシュはしないよ♡」



「はあはあ、いきそう♡いきそう♡」

「でもまだイかない♡♡♡♡♡」

「あ…あ あ いきそう♡いきそう♡」

「でもまだイかなくい♡♡♡♡♡」

んあ…あ あふう♡
このはち切れんばかりの
肉感♡まさに神ボディ

ウザいキモい
早くイけっ！

おちんちん
腐って取れる！
キモメン双子！！



はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

「はあはあ…はあもうやめ…て
いくらなんでも激しすぎっしょ」

「おやおや？ さっきの強がりはどうしました？」

「ずいぶんと色っぽい声になってきましたね！」

ちよ…まっつて
ヤバい、ヤバい！
脳天に響くから
もう少しゆっくら

童貞マジ
ガツつきすぎ！！



「やるな重男、お兄ちゃんだって負けないぞ！」

「さすが太兄ちゃん、もう復活かい？」

「当然だ、伊達にギヤル子さんのパンチラだけで日に20回も自慰行為してきわけじゃあないんだぞ♡」

ヒュ♡♡♡♡
兄ちゃんやるう

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

んぽうっ

もうやめ…っ
んぶう!!



「このいやらしいお尻のせいで
ボクらの勉強が妨げられて
きたんだな」

「しつかりお仕置き
してやるぞ！」

…なになに？
何するつもり!?

ちよーやな予感しか
しないんですけど!!

「アンタ達が勉強できないの
私のお尻は関係ないでしょっ」



「もっとお尻を突き出してくださいな！」

「ばパカっつ、そんなことしたら
お尻の穴壊れちゃうっしょ!!」

お尻!

や、...ウソでしょ!!?
マジで無理ムリ!!

ふぎふぎふぎふぎ
ふぎふぎふぎふぎ!!

「うんうん、さっきより
おまんこギユンと
しまつてイイ感じ♡」

ぽんぽんぽん

ぽんぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

「童貞喪失のお相手が
憧れのギヤル子さんとは
ボクらはどこまで
ラッキーなんだ♡」

不意

ひぐっん

不意

不意

不意

不意

不意



こ…こんなの
マジありえない

「今日まで童貞を守ってきた
よかったね♡お兄ちゃん」

「そうだな、ギヤル子さんも
悲鳴を上げるほど喜んで
くれているみたいだし♡」

「このままずっとずっと
おちんちん入れていたいね♡」

おちんちん

これ以上は
マジ…無理
だから…!

おちんちん

おちんちん

おちんちん

おちんちん

おちんちん

おちんちん

サーセン、マジサーセン
もうカンベンして…!!

「うん、うん、明日の朝まで…いや、
このままボクらのお家に連れて帰って
死ぬまでおちんちん入れてようか♡」

いやあああああ
だれかあああ!!

たすけてえっ
つつつつつ!

「ヒュ〜っっ♡
アナルSEXしながら
プロポーズなんて
兄ちゃんイカすう〜♡」

「ウザっ!! 帰って
オナニーして寝ろ!!」

「ボクらの童貞を
捧げたんだから
責任は取って
結婚してもらおうよ」

「はあっ???
マジもう限界!!
ふたりとも
キンタマ袋
破れるっつ!」

「幸せにするよ♡
ギヤル子」

グ
チュッ

グ
チュッ

グ
チュッ

グ
チュッ

グ
チュッ

グ
チュッ

グ
チュッ

よかった♡

♡

!

お願い
助けて!!

ズツ

おい、おまえ達!!
ここで何してるんだ!?

ズツ

ズツ

ズツ

ズツ

!?

ズツ

ダイナーの時間になっても
おまえ達が帰らないなんて
ただ事ではないと心配して
捜しに来てみれば：

先にデザートなんて
いただいちやってるの♡

スッ活

ニ活

ニ活

スッ活

ガッ

お兄ちゃん？

…へ？
お兄ちゃん
…？？？

うウッ…
同じ顔が
…増えた

大(まさる)
兄ちゃん！

「おまえ達ナンパなんてイカしてるじゃないか♡」

「しかもお相手はボクの最強オナベツトギヤル子さんとは驚きだ!」

「とりあえず回しか空いてないけどいいかな? お兄ちゃん」

んぶううっ!!

さっそくお兄ちゃんも参加させてもらおうぞ!!

「うん、もちろんだよ! 実はこのままお家に連れて帰るうかと話してたところなんだよ」



「この妖艶な唇も太のモノか…
ちよつとうらやましいな」

「たまにはお兄ちゃんにも貸してな(笑)」

「もちろんだよ大お兄ちゃん
ボクの物は兄弟みんなの物
みんなで仲良くね♡」

「そうかそうか♡
それじゃあ
このおまんこも
おっぱいも
みんなものだな」

「当然だよ、
ボクらは
兄弟だモン」

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

「おふ、憧れのギャル子さんのお口にボクのおちんちんが何度も出たり入ったりしてると思っただけで射精しそうだ！」

ん…うさめっ♡

げほっ!!
ごほおっ

んぷふうっ

「そうだね
みんなもギャル子さんのお尻の穴味わってごらんよ、
きつと病みつきになるよ！」

「そろそろ
ローテーション
しようか
おまんこ独占するの
悪いし…」

ガッガッ

ニんん

グッ

グッ

グッ

ガッガッ

ガッガッ

ギャッ

ギャッ

ギャッ



あ…、ボクもうイきそう！

やだやだ、ヤバいってマジ中出しとかありえないっしょ!!

そ外に…ね!!
お願いだから外に出してよおっ!

ボクら結婚したんだから中出しは当然だろう♡

グ
フ
ツ

ト
フ
ツ

フ
ツ

ト
フ
ツ

ド
フ
ツ

フ
ツ
グ
フ
ツ

グ
フ
ツ

フ
ツ

「気持ち良すぎて
おちんちん抜きたくないから
このままもう一回射精するまで
突きまくってもいいかな？」

ど
こフすぎ

マジ…カンベン

「はっはっは一応は
太のお嫁さんだぞ
遠慮しろよ、重男(笑)」



「くはあつ！ギャル子さんなら
ボク何回でも射精できそう…」

あ ギャル子さん、
そのままね♡
ピースやめたら
今日は帰れないよ

…んんっ!!

んぶふううううう

ビュッ
ビュッ

「そうだな、ここまで素晴らしい
肉感豊かなわがまま神ペディは
他にはいないだろう、しかも美人」

「こんな全身性器のようなセクシーなお嫁さんを
もらえるなんて太が羨ましいなあ」

ふうっっ
気持ちいい
♡

グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ



「さあ結婚の記念に
みんな写真撮ろうか」

んんん

「ギャル子もうピースやめていいよ
今日のところは帰してあげるとか
全然ウソだから(笑)」

「ギャル子さん、
いや、お姉さん
笑って笑って♡」

あははは

あははは



































































































































































































































































































































































































































































































大丈夫だ、だだだだ
大丈夫だ、だだだだ
大丈夫だ、だだだだ
大丈夫だ、だだだだ
大丈夫だ、だだだだ
大丈夫だ、だだだだ
大丈夫だ、だだだだ
大丈夫だ、だだだだ
大丈夫だ、だだだだ
大丈夫だ、だだだだ

お尻の毛、
はみ出たから、
はい、お尻の毛、
はみ出たから、
はい、お尻の毛、
はみ出たから、
はい、お尻の毛、
はみ出たから、
はい、お尻の毛、
はみ出たから、



